

2026 春季二科展 特別講演 [講師:水沢 勉]

講演テーマ

「誕生、転機、現在 二科会の歴史から」

二科会は、日本でのモダニズム美術の展開の起点であり、「洋画」の形成にとって決定的な役割を果たしてきました。大正期での誕生と背景。その時点からいくつもが重なってきた戦争。そして現在。一世紀を越える歴史の一部を紐解きます。



美術史家・美術評論家

水沢 勉(みずさわ つとむ)

講師プロフィール

日本とドイツ語圏の近代美術に
関心を持ち、学芸員として展覧会を
企画し、それぞれの現代も含めて
調査と批評を重ねてきた。

現在は学芸員としての公務は退き、
美術史と美術評論に関する執筆や
発表に関わっている。

1952年11月27日 横浜市生まれ。

1976年 慶應義塾大学美学美術史学科卒業

1978年 慶應義塾大学大学院修士課程修了

1978年 神奈川県立近代美術館に学芸員として勤務

2008年 横浜トリエンナーレ2008

「タイムクレヴァス」総合ディレクター

2011年 神奈川県立近代美術館長(2024年まで)

日 時

4月25日(土)

午後2時30分～4時

場 所

東京都美術館 講堂

定 員

先着100名

(定員になり次第 締め切れます)

参加費:無料

※下記の「参加申込書」に氏名、住所、携帯をご記入の上、メールまたはファックスでお申し込みください。

参加申込書

一般・会友・会員

↑ いずれかに○をつけて下さい

ふりがな 氏名	
住 所	〒
携帯/(電話)	

Mailで応募: nikafax@nika.or.jp
FAXで応募: 03-3354-4768

2026 春季二科展 特別講演

